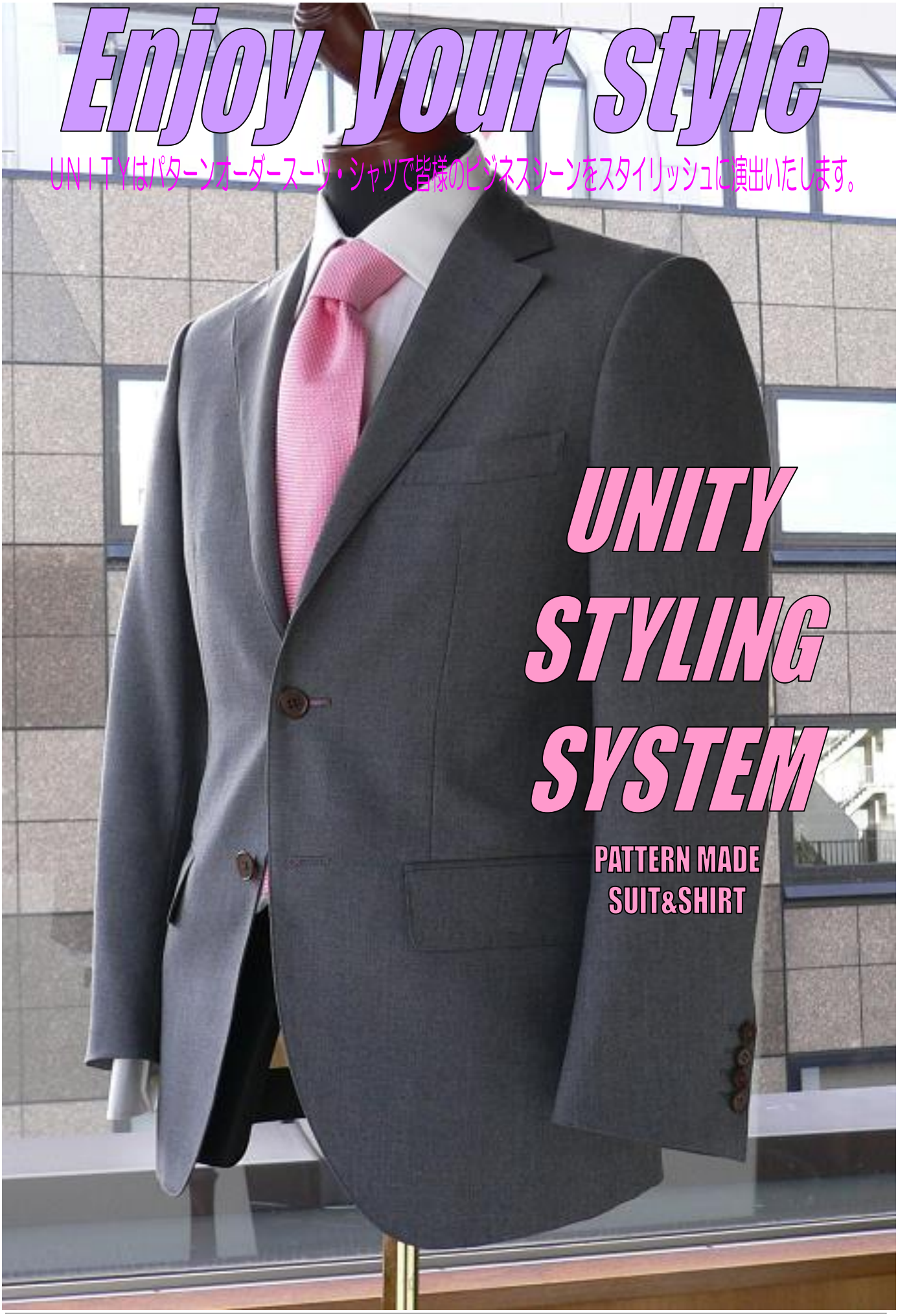
UNITY PATTERN MADE SUIT & SHIRT

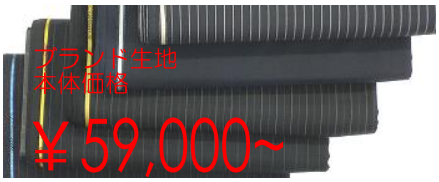
USSTYLING SYSTEM

株式会社ＵＮＩＴＹ


Enjoy your style
UNITYはパターンオーダースーツ・シャツで皆様のビジネスシーンをスタイリッシュに演出いたします。
UNITY
STYLING
SYSTEM
PATTERN MADE
SUIT&SHIRT

SUIT　生地・ﾃﾞｻﾞｲﾝ・ｻｲｽﾞを自分流にｶｽﾀﾏｲｽﾞ

① 生地選び　リーズナブルなお値段からご用意



今シーズンのオススメ

★カラーはライトグレー、ベージュ、ライトブルーなどのニュートラルカラー
★￥29,000(本体価格）には「サマーウール」や「SOLOTEX （ｽﾄﾚｯﾁ素材）」
「NANO（撥水/撥油/防汚加工素材)」をラインナップ。
★インポートブランド生地は￥59,000(本体価格）～ご用意。お買い得品です！

② スタイル選び　上下別々の組合せはもちろん、体型に合わせた補正が可能です。

ジャケット　２３サイズ
２モデル

British Standard Model
程よいゆとりを持たせた
幅広い世代に愛されるモデル

パ　ン　ツ　２３サイズ
２モデル

Italian Slim Model
タイトにフィットする
デザインが特徴のトレンドモデル

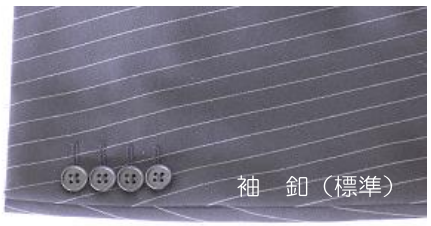
③ 採　　寸　　ベテランスタッフによる採寸

④ 多彩なデティール　様々なオプションから自分仕様にカスタマイズ

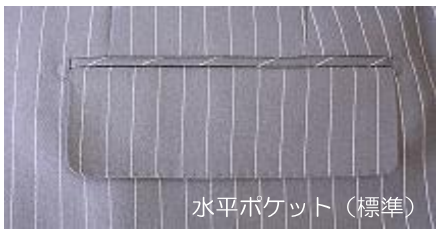
※デティールはお値段によって変わります。
詳しくは最終ページの別途オプション表をご参照ください。

標　　準

お台場仕立て（オプション）


袖　釦（標準）

袖本切羽開き（オプション）


水平ポケット（標準）

スラントポケット（標準）

サイドベント（標準）

センターベント（標準）

ピークラペル（オプション）

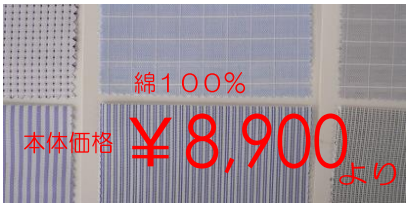
オプション裏地

バックルループ（標準）

Vスリット（オプション）

SHIRT　自分仕様のスーツには自分仕様のシャツが似合う

① 生地選び　豊富な生地の中からお選びいただけます。



今シーズンのオススメ

★カラーは引き続きパープルが人気を継続中。ピンクなどのパステルカラーも今春のトレンド。衿型は衿の長さがショートタイプのものがトレンド。

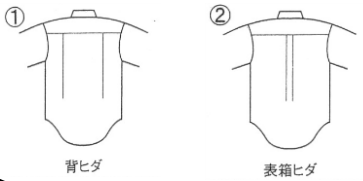
② 採　寸　ベテランスタッフによる採寸

③ 豊富なデティール　豊富なバリエーションからお選びいただけます。

※ネーム刺繍・クレリック・穴かがり色糸・・・オプション料金（￥1,000）がかかります。

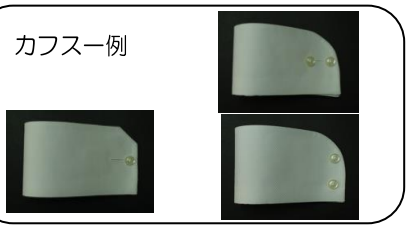
衿型一例

背タックー例



ネームー例

カフスー例



色釦・穴かがり刺繍一例

INFORMATION

「販売会以外でもご購入できないのですか？」というお客様のお声を多数頂戴しております。弊社事務所に採寸コーナーを設けております。平日は勿論のこと、土日祝日もお客様のご都合に合わせ時間対応致しますので、お気軽にご一報いただけましたら幸いです。

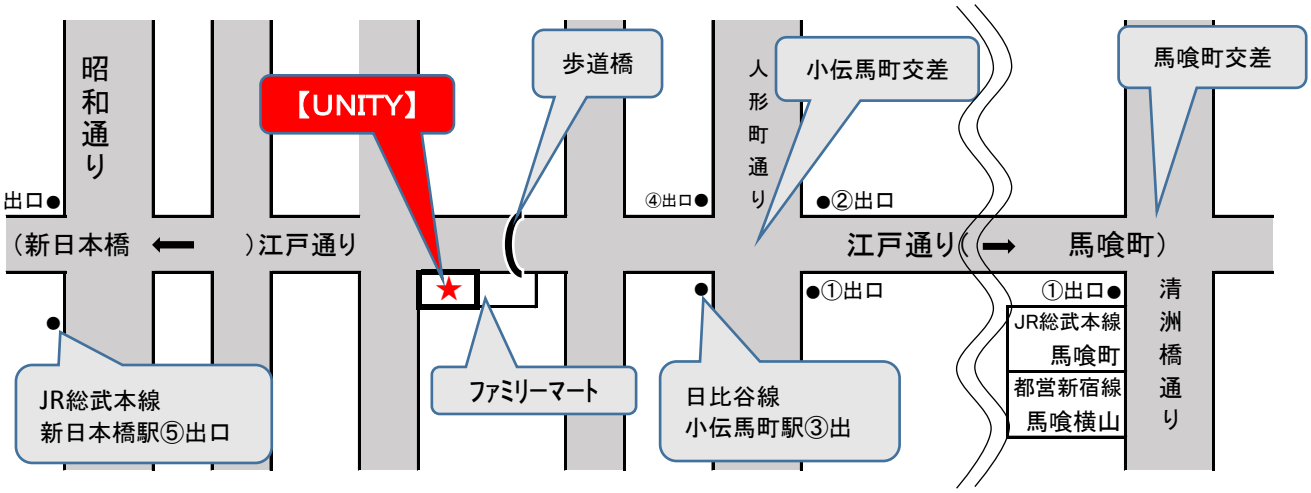
UNITY
STYLING
SALON

住所　東京都中央区日本橋小伝馬町1-3
日本橋ニシキビル4F-401

電話　03-6667-0756

FAX　03-6667-0680

担当　菅野、林田、松浦



- 日比谷線：　小伝馬町より　徒歩2分
- 総武本線：　新日本橋より　徒歩4分
- 総武本線　：　馬喰町より　徒歩5分
- 都営新宿線　：　馬喰横山より　徒歩6分

〒103-0001　東京都中央区日本橋小伝馬町1-3　日本橋ニシキビル4階401
TEL:03-6667-0756　FAX:03-6667-0680
株式会社 UNITY 東京支店　菅野 和人（携帯080-3476-2915）
林田 昭彦（携帯080-3476-4271）
松浦　収（携帯080-5165-2357）

HISTORY

★スーツの誕生

中世ヨーロッパの軍隊は農民で構成されておりました。この農民達が兵隊になりたいという憧れを持たせるために、最高に格好の良い軍服を作りました軍服は、詰襟のように首までを釦で止めるデザインでしたが、兵士達は暑さを避けるため、第一釦や第二釦を左右に開けて着ておりました。その折り返しが、現在のラペル（衿）の原型となっております。その為、現在フラワーホールと呼ばれる会社のバッジなどを止める場所はもともとは軍服の第一釦の名残になります。

★袖口の釦について

四個が基本になります。袖口の釦の数は位を意味し、一個は平社員、二個は課長、三個は部長、四個は社長、役員になります。そのため、英国の高級な服は４個の袖釦がついており、当社の製品も４個つけております。

★ベント（背中の切れ目）について

当初、スーツのベントは切っていませんでした。それが、乗馬の際乗りやすいようにとセンターベントが出来、サーベルを差しやすいようにサイドベントが出来ました。ベントを切る切らないは、個人の好みによりますがフォーマルウエアに関してはノーベントになります。

★パンツについて

ベルトはもともとは兵士達が様々な武器を提げる道具として考案されたものでもともとはベルトループがなく、サスペンダーで吊るすスタイルでした。今でもフォーマルウエアなどはサスペンダースタイルが多く見られるのはその為です。
ちなみにパンツをずりあげる動作は、西洋では最も見苦しいとされているそうなので、海外に行った際にはご注意を

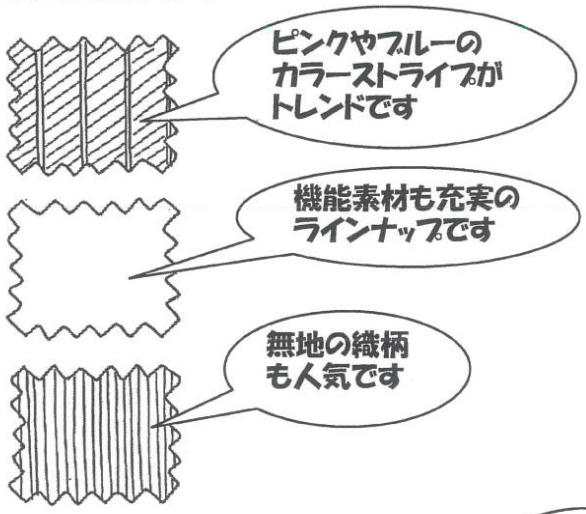
★パンツの折り返し（裾のダブル）

もともとスーツが誕生した頃は生地が非常に重たかったため、折り返すという発想自体が存在しませんでしたが、２０世紀初め英国のある貴族がNYで行われた結婚式に参列する途中、雨に遭いパンツの裾を折り曲げ、それが定着したという歴史をもちます。現代では、生地が軽くなっているので逆に重量感をもたせる為に折り返しが良いともいわれますが、個人の好みでよろしいかと思います。（但し、フォーマルに関してはシングルが基本です。）

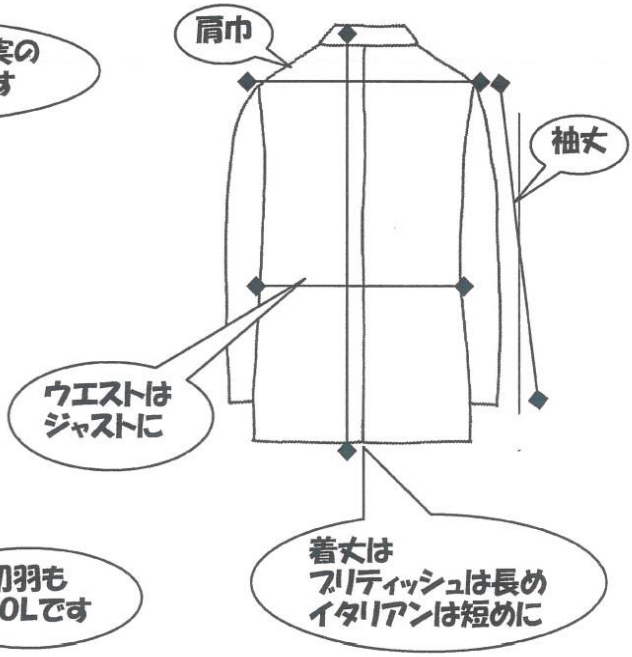
参考文献　　落合　正勝
「男の服装術」

オーダースーツの作りかた

1. 生地を選びます

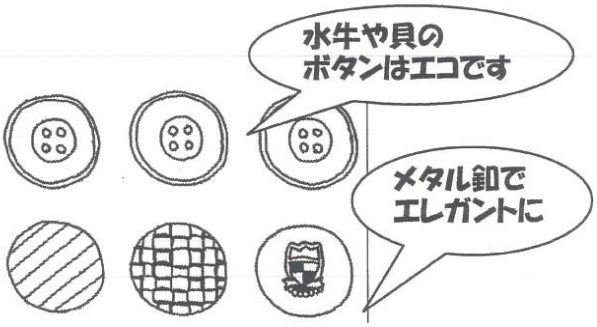


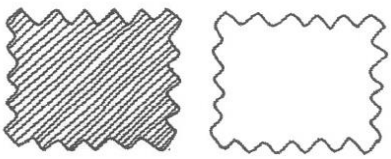
2. 採寸をします

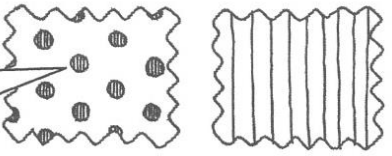


3. デザインを決めます

4. ボタンとウラ地を選びます







5. 完成